

関東ジュニアペア碁大会 大会規定（ルール編）

1. ペア対局について

- ☆ペアのうち1人がジュニア（中学生以下）であること。のこりの1人は年齢を問わない。
- ☆「フォーマルクラス」以外は性別を問いません。「男性ペア」「女性ペア」「男女ペア」いずれもOK。（「フォーマルクラス」のみ必ず「男性・女性ペア」であること。）
- ☆ペアのうち「年少者」を「キャプテン」とし、対局中は「キャプテンマーク」を着用すること。
- ☆ペアの二人を「パートナー」と称す。

2. 着席について

- ☆碁盤をはさみ対局するペアと向かい合うように、並んで着席する。
- ☆また、キャプテン同士が向き合うように着席する。

3. 着手する順番について

- ☆着手する順番は、次のとおりとし、この一巡を「ローテーション」と称す。

… → ●キャプテン（年少者） → ○キャプテン（年少者） → ●年長者 → ○年長者 → …

- ☆対局者は、ローテーションどおりに着手をすること。
- ☆最初の着手は、次のとおりとする。

【互先、定先などの置石のない場合】

黒番のキャプテン（年少者）

【二子以上の置碁の場合】

白番のキャプテン（年少者）

4. 情報交換の禁止

- ☆対局者は対局中、相談、身振りなど着手以外の方法でパートナーと意思の伝達、アドバイスなどの情報交換をしてはならない。
- ☆例外として「投了」に関する相談と、「手番（着手する順番）」の確認のための会話を認める。

5. 投了について

- ☆投了は手番の対局者が申し出る（ただし、投了に関する相談は認められる）。
- ☆パートナーはこの申し出を覆す（撤回する）ことはできない。

6. 反則について

- ☆パートナー間で不当な情報交換が認められた場合、違反者（違反ペア）は反則負けとする。
- ☆パートナー間で手番を間違え、正規のローテーションから逸脱した場合、これを「誤順」と称す。
- ☆誤順が発生した場合は、必ず「審判（プロ棋士）」を呼ぶこと。
- ☆審判は、次のとおり手番を修正し、対局を継続させること。

【指摘された手番が誤順の場合】

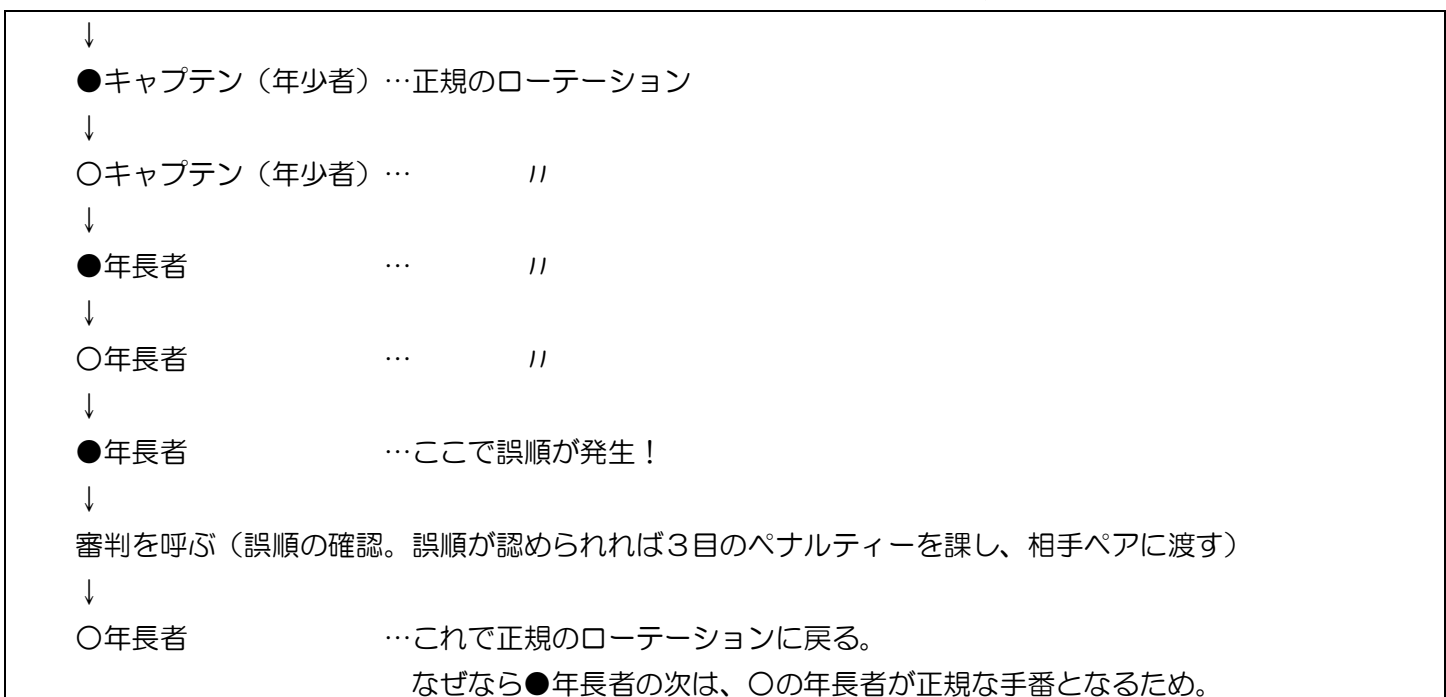
相手に3目のペナルティーを支払う

【指摘された手番が誤順でない場合】

引き続き対局を継続させる

- ☆ただし誤順が発生し、3目のペナルティーを支払ったあとは、さかのぼって打ち直すことはせず、最後の手番順が正しく着手されたものとみなし、最後に実際に着手した対局者を起点として正規のローテーションになるように、次の手番側は着手すること。

誤順および正規ローテーションへの戻し方の例



※「大会規定（ハンデ編）」についてもご一読ください。

関東ジュニアペア碁大会 大会規定（ハンデ編）

1. ハンデの設定

☆ハンデはポイント制とし、下記のとおりとする。

☆アマ・タイトル保持経験者は9ポイント、アマ・タイトル戦都道府県代表経験者は8ポイントとする。

☆その他は申告に基づく棋力からハンデポイントを決める。

7段→7P、6段→6P、5段→5P、4段→4P、3段→3P、2段→2P、初段→1P、

1級→0P、2級→-1P、3級→-2P、4級→-3P、5級→-4P、6級→-5P、……以下同じ

☆2人のポイントの合計を2で割った点数を「ハンデポイント」と称する。

ハンデポイントの算出例

Aのポイント	6P	4P	5P	2P	-3P
Bのポイント	2P	1P	-1P	-4P	-4P
ペアポイント	4P	2.5P	2P	-1P	-3.5P

2. 手合割

☆ペアのハンデポイントの差をもとに、下記の手合割表に従い対局する。

☆ジゴは白勝ちとする。

☆コミ6は黒から6目のコミ出し、コミ-6は白から6目のコミ出し（逆コミ）

手合割表

ポイント差	置石	コミ
0.0	0	6
0.5	0	0
1.0	0	-6
1.5	2	0
2.0	2	-6
2.5	3	0
3.0	3	-6
3.5	4	0
4.0	4	-6
4.5	5	0
5.0	5	-6
5.5	6	0
6.0	6	-6
6.5	7	0
7.0	7	-6
7.5	8	0
8.0	8	-6
8.5	9	0
9.0	9	-6